



尾藤 晴彦 (BITO Haruhiko)

東京大学大学院医学系研究科 教授

東京大学医学部医学科卒業、医師免許取得。
同大学院医学系研究科医学博士課程修了、
博士 (医学) 授与。

1993 年よりスタンフォード大学医学研究科常勤研究員。1997 年より京都大学大学院医学研究科脳統御医科学系専攻 神経細胞薬理学教室にて助手、1998 年より同・講師を経て、2003 年より東京大学大学院医学系研究科 助教授 (教室主任)、2007 年より同・准教授 (教室主任)。2013 年 4 月より現職。

日本神経科学学会理事 (国際連携委員長) (2017-)、日本神経化学会理事 (2017-)、日仏生物学会幹事 (2013-)、戦略的国際科学技術協力推進事業「日本-メキシコ研究交流」日本側代表者 (2011-2014)、日本神経科学学会 日中合同シンポジウム 日本側オーガナイザー (2011-)、日米先端科学シンポジウム 日本側主査 (2008-2010)、日米科学技術協力事業「脳研究」分野情報交換セミナー 日本側オーガナイザー (2008)。

専門は神経生化学・神経シグナル伝達学。神経回路は、神経細胞の結合と機能的なシステム形成のための厳格な「設計図」と、個体ごとに内部・外部の環境変化に刻一刻と対応しその経験を蓄積できる「適応性・学習能力」という、「剛」と「柔」の性質を併せ持つ。こうした特性から高次脳機能が生み出される仕組みを、分子、シナプス、遺伝子発現、神経回路レベルで次々と明らかにしている。

主な共著に、『ブレインサイエンスレビュー2013』(クバプロ)、『Annual Review 神経 2012』(中外医学社)、『シリーズ脳科学 5 分子・細胞・シナプスからみる脳』(東京大学出版会、2008) などがある。英文研究論文 80 編以上 (総引用数 9900 件以上、Google Scholar Citations)。

第 25 回塚原伸晃記念賞 受賞 (2011)、日本生化学会奨励賞 受賞 (2004)、日本薬理学会 学術奨励賞 受賞 (2003)、Human Frontier Science Program Young Investigator Grant 受賞 (2002)、Human Frontier Science Program Long-Term Fellowship 受賞 (1993)。